

# 南桂子の世界展

20 没後  
年 後

詩と出会う旅



《2人の少女と蝶》1979年 エッチング、サンドペーパー 32.0×28.3cm  
ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵

高志の国  
文学館

KOSHINOKUNI  
Museum of Literature

2024.12.7(土) ▶ 2025.2.11(火・祝)

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで) ※12月7日(土)は10:40開場

休館日／最終日以外の毎週火曜日、2024年12月29日(日)～2025年1月3日(金)

観覧料／一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円(裏面をご覧ください)

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

主催／高志の国文学館 共催／北日本新聞社、チューリップテレビ

協力／ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション、香希画廊

# 没後20年 詩と出会う旅 南桂子の世界展

船はボートと汽笛をならしました。さあ、出発!! 南桂子「船の旅」より



南桂子 1950年代パリのアトリエにて  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)



生前に蒐集したアクセサリー  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)

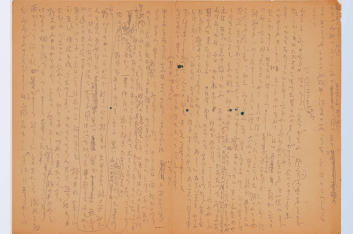
南桂子(1911-2004)は、現在の富山県高岡市に生まれ、県立高岡高等女学校では絵画制作や詩作に親しむ多感な少女時代を過ごしました。戦後まもなく上京し、銅版画と出会った南は、パリやサンフランシスコなど海外で活躍し、森の中の城、塔、少女や小鳥などをモチーフに、繊細で詩情あふれる銅版画作品を残しました。

銅版画家になる前の一時期、南は壺井栄に師事し、童話作家を志していたことがありました。新聞に掲載された作品のほか、遺品の巾着箱の中から詩や童話を書きつけた原稿用紙も見つかり、南桂子のもうひとつの世界をのぞき見ることができます。

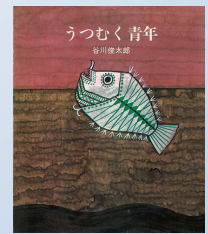
没後20年を機に開催する本展では、銅版画作品と自作の童話や詩、詩人たちのことばをとおして、南桂子の世界を旅します。



手書きの原稿が詰められていた巾着箱  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵) 撮影・長塚秀人



初公開  
南桂子直筆原稿「チロ星」  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵) 撮影・長塚秀人



谷川俊太郎『うつむく青年』  
山梨シルクセンター出版部1971年  
(装幀/装画・南桂子)

展示 詩人・作家  
(50首順)

池田瑛子・小川洋子・最果タヒ・谷川俊太郎・蜂飼耳・文月悠光・水沢なお・南桂子

## 関連イベント

### 1 講演＆サイン会

「詩の海はどこまでも広がっていく」

講師 水沢なお氏(詩人)  
日時 12月7日(土) 14:00～15:30  
会場 当館研修室101  
◎申込必要 ◎参加無料  
◎定員/100名

### 2 講演

「南桂子銅版画の魅力」

講師 神尾玲子氏  
(群馬県立近代美術館次長兼学芸係長)  
日時 12月12日(日) 14:00～15:30  
会場 当館研修室101  
◎申込必要 ◎参加無料  
◎定員/100名

### 3 高校生による朗読劇

「南桂子の童話と出会う旅」

出演 県立高岡高等学校  
放送部と演劇部のみなさん  
放送回 1月26日(日) 14:00～15:30  
日時 1月26日(日) 14:00～15:30  
会場 当館研修室101  
◎申込必要 ◎参加無料  
◎定員/100名

### 4 展示担当者による

ギャラリートーク(展示解説)

日時 12月14日(土)、1月19日(日)、  
2月22日(日)、2月9日(日)  
各回14:00～(30分程度)  
会場 当館企画展示室  
◎申込不要 ◎要観覧券

「申込方法」電話・FAX・WEB申込フォームにて  
イベント名(複数可)と氏名・電話番号を当館まで  
お知らせください。

◎定員に達し次第、募集を終了します。  
※FAXでのお申込で、定員に達している場合のみ当館からご連絡いたします。



◀申込フォーム  
<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=0U1AhxgC>

## 高志の国 文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22  
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490  
<https://www.koshibun.jp/>

次回  
企画展  
予告

池波正太郎展  
人間通のまなざし(仮称)

2025年3月29日(土)～6月9日(月)



### 利用のご案内

〈開館時間〉9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)  
※12月7日(土)は10:40開場

〈休館日〉最終日以外の毎週火曜日、  
2024年12月29日(日)～2025年1月3日(金)  
〈観覧料〉一般400円(320円)、大学生200円(160円)、  
前売り・一般320円

[お求めは高志の国文学館、アーツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます。]

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。  
※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

### 交通のご案内

- JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から/◎市内電車「富山駅」のりばから大学前行または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどはや(西ルート)「富山中部高校前」下車、徒歩2分
- 富山空港から/◎タクシー 約20分
- 北陸自動車道富山ICから/◎自動車 約20分



心にたっぷり、栄養補給!



館長 室井 滋